

—— 爽やかな夏空の下 体育祭開催! ——

6月29、30日、体育祭を開催しました。クラス毎のTシャツを着て、仲間とともに球技大会、



運動会を楽しみました。熱く、時には楽しいパフォーマンスにクラスを越えた仲間づくりが広がりました。

催されましたが、それよりも熱く、激しい戦いが見られました。3年生は高校最後の体育祭ということで、力の限り頑張り、その結果、優勝2チームという珍事を引き起こしました。そんな思いは全クラスに伝播し、どのクラスも皆、喜怒哀楽すべての感情を爆発させ、楽しんで体育祭となりました。勝敗以上に、体育祭は楽しんだモン勝ちです。クラス、学年を越え、学校全体が団結できたからこそ、素晴らしい体育祭が作れたのだと思います。濃密な2日間、皆さんありがとうございました。



体育祭を終えて
 体育祭実行委員長 菅野哲平
 (3年・増田中出身)

今年の体育祭は6月とは思えない暑さの中で開催されました。

生徒会役員選出

6月21日、立会演説会、生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に松本裕也さん(写真中・2年・逢隈中出身)、生徒会副会長に桂田航汰さん(写真左・2年・中田中出身)、伊藤美早紀さん(写真右・2年・名取一中出身)が選出されました。今までの生徒会の積み重ねの上に、



新役員を中心とした生徒会が、豊かな高校生活を創造して行きます。

これからの北高に向けて

生徒会長 松本裕也

全生徒が参加できる活動をもっと工夫しながら、北高生が在学中も卒業後も誇りに思える学校にしたいです。地域の皆様と連携した活動や地域貢献活動に何らかの形で全校で携わり、より良い学校づくりに活かしたいと考えています。

より良い学校生活のため、全生徒の力を結集し、一人ひとりが充実した生活を送れるよう、共に頑張ってください!

サンフランシスコ日本語補習校サンノゼ校との交流会開催



7月5、6日、サンフランシスコ日本語補習校サンノゼ校の生徒24名と引率9名の皆さんが、昨年に引き続き来校しました。5日は英語研究部との交流会

と生徒会主催のレセプション、6日は各クラスで授業と昼食を共にし、サンフランシスコで学ぶ日系アメリカ人の高校生と交流しました。

クラスでの交流を通じて

石川唯花 (右写真の中央・3年・宮中出身)

始めは、たった半日のクラス内交流で、こんなに楽しい思いができるとは思っていませんでした。アメリカの方は会った時からすぐ名前で呼び合い、初対面では人見知りになる日本人とは大きく違っていました。私の隣の席で政治経済の授業を受けましたが、すぐ私の名前を覚え呼んでくれるフレンドリーな国民性に驚きました。知らない人と会っても楽しむためにコミュニケーションする姿勢は、語学力以上に、国際理解のために必要



な力だと感じました。昼休みには一緒にお弁当を食べたりトランプをしたり、クラス皆と記念写真を撮ったりと、楽しい時間を過ごすことができました。高校生活の最後の年にこのような経験ができたことは本当に良かったです。

将来、自分が思い描く理想の看護師とはどのようなものか、この講義を通じて深まりました。学んだことを心に焼き付け、目標に向かい努力しようと思いません。

私はこの講義を受けるまで、看護とは「この病気の人にはこのようなケアをする」というように、決まっていることを行うことが多いのだと思っていました。しかし、決まったケアだけでなく、患者さんが今どのように感じ、思っているかを理解し、して欲しいと思うことを極力して差し上げることが大切で、他者への関心や、看護する人間の感受性が求められるということがわかりました。



(3年・名取二中出身)

看護の講義を受講して

安室誠之

高大連携事業「サマーカレッジ」開催

6月24日、東北学院大、東北福祉大、東北



工業大、宮城大から講師の先生をお招きし、

「名取北高サマーカレッジ」を開催しました。本校の他に7つの高校と名取市内の中学生も参加し、4講座計139名が大学の講義の深さや面白さを体験しました。



終了後も熱のこもった質問が続きました

平成7年から本校校医としてお世話になってい
る、名取中央クリニック医師の洞口篤先生よ
り生徒へ激励メッセージをいただきました。

「創造する力を！」

名取中央クリニック医師

洞口 篤



Q 北高生の印象は？
A 校医になって22年になりますが、学
校の雰囲気やゆったりしていて明るく
い学校という印象です。学校訪問時、生
徒さんたちはいつもフレンドリーに対
してくれま

Q サンノゼ校との関わりが生まれ
つかけは？
A 昔若い頃、カリフォルニアのスタン
フォード大学留学中に知り合った方と
ご縁で、震災後のサンフランシスコ日
語補習校サンノゼ校の名取訪問に関わ
ることになりました。彼らは、週末に日
語を勉強しており、同じ高校生との交
流も望んでおります。

Q 医療現場から見て、学校へ求めら
れていることはどんなことだと感じま
すか？
A 医療は地域の中に溶け込み、患者さ
んだけではなく、家族や地域に寄り添
ってゆくような取組が大切だと感じてい
ます。医療と教育は似ており、学校に
も同じようなことが求められていると思
います。北高が小中学校と連携する等
の姿勢はユニークで素晴らしいと感じて
います。

Q 北高生へメッセージをお願いします
A 創造する力を育てて欲しいと思いま
す。好奇心を持つことが何かを創造す
るのに大切なことだと思います。これ
からも応援しています。

小中高連携した「あいさつ運動」スタート

6月28日、志教育支援事業として増田中学校区の小中高が連携したあいさつ運動が始まりました。この運動は11月までの毎月、名取駅（東口、西口）、美田園駅の2駅3か所で、中学校区内の増田小、下増田小、増田中、名取北高が一同に会し、あいさつ運動を行うものです。人・地域との関わりを通し、地域貢献



7月12日、山田市長から激励



できる仲間づくりを目指します。あいさつが溢れる地域づくりのために、どうぞお声掛けをお願いいたします。

名取一中で授業研修

6月16日、教員の授業力向上のため、本校教員2名が名取市立第一中学校を訪問し、中学校での実践を学びま



授業参観する今田教諭

3学年 進路希望実現に向けて

3年生は進路希望実現に向けての取組が本格化しています。6月23日からは、進学のための平日課外講習が始まりました。6月24日には、3年生とその保護者を対象に進路説明会を開催しました。それぞれ進路希望毎の分科会で、進路希望実現に向けた準備や疑問の解決、将来への志の再確認を行いました。



学習合宿での黒澤教諭の講義

7月6日には、社会人として頑張っている卒業生を招き、就職希望生徒との懇談会を開催しました。7月15～17日には進学者対象に2泊3日の学習合宿を富谷市の東北自治研修所で行いました。コツコツまじめに取り組む北高生は、目標に向かって邁進しています。

7月6日には、社会人として頑張っている卒業生を招き、就職希望生徒との懇談会を開催しました。7月15～17日には進学者対象に2泊3日の学習合宿を富谷市の東北自治研修所で行いました。コツコツまじめに取り組む北高生は、目標に向かって邁進しています。



就職希望者を対象とした卒業生を囲む会

6・24日、応用力養成の講習



土曜学習会開始

1、2年生対象の土曜学習会は6月10日から2月17日までの間、年7回開催しています。定期考査前には弱点克服を、模擬テスト前には応用力養成を行っています。

仙南地区公立高合同説明会に参加

7月1日、柴田高を会場に仙南地区公立高合同説明会が行われ、約330名の中学生、保護者の方に本校の説明をお聞いただき、約130名の方に本校ブースを訪問いただきました。おいでいただきました皆様ありがとうございました。



地震を想定した避難訓練を実施

6月13日、地震を想定した避難訓練を行い、地震発生に伴う非常時の行動を再確認しました。名取北高校では命を守る防災について、様々な角度から人材育成を行って参ります。



【宮城県名取高等学校】

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103

TEL 022-382-1261 FAX 022-384-8976

HP <http://natorikita.myswan.ne.jp>

mail chief@natorikita.myswan.ne.jp

(担当) 教頭・町田尚彦

(学校だよりのご感想をお寄せください)

